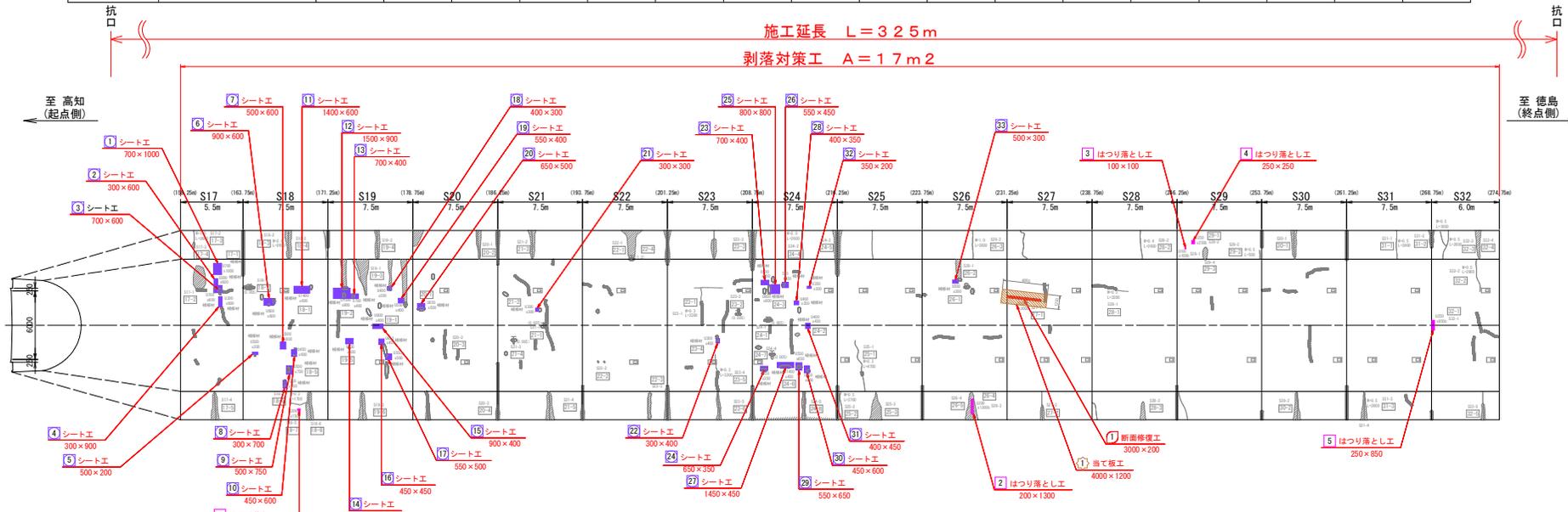


対策工展開図(1/3) S=1:200

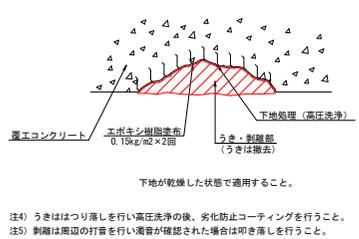
<はつり落とし工、断面修復工、当て板工、シート工>

スパン番号	S17	S18	S19	S20	S21	S22	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	合計
はつり落とし工	-	0.03m ²	-	-	-	-	-	-	-	0.26m ²	-	-	0.07m ²	-	-	0.21m ²	0.57m ²
断面修復工	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.60m ²	-	-	-	-	-	0.60m ²
当て板工 (FRPメッシュ工)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.80m ²	-	-	-	-	-	4.80m ²
シート工 (炭素繊維シート工)	1.57m ²	2.64m ²	3.14m ²	0.33m ²	0.09m ²	-	0.12m ²	3.07m ²	-	0.15m ²	-	-	-	-	-	-	11.11m ²

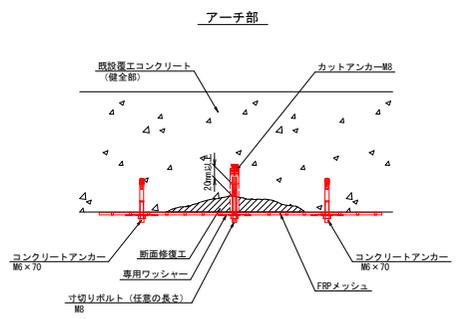


施工延長 L=325m
剥落対策工 A=17m²

はつり落とし+劣化防止コーティング工

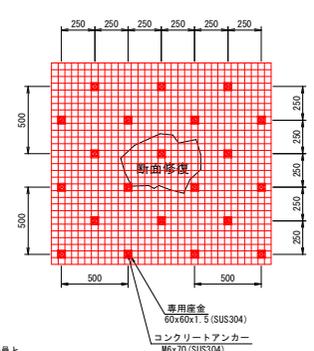


当て板工 (FRPメッシュ工)



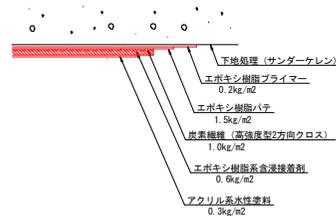
- ※1: 寸切りボルトは健全な覆工コンクリートに対して20mm以上定着するものとする。寸切りボルトの長さは必要に応じて調整すること。
- ※2: 変状の進行によって、図示した範囲以外で剥落対策工が必要と考えられる場合は、監督員と協議の上、変更を行うこと。
- ※3: 変状の進行によって、図示した範囲以外で剥落対策工が必要と考えられる場合は、監督員と協議の上、変更を行うこと。
- ※4: うき部のはつり落し工は、うき部の厚さによって耐荷力が異なり、剥落対策工の仕様は変化する。うき部は、1.0m²程度以下のうきについては、はつり完了時点で照会を行うこと。
- ※5: 耐荷力の照会によって、はつり落し工の仕様の変更が必要な場合には、監督員と協議の上、変更のこと。
- ※6: 鉛直目地を跨いで剥落対策工を施工する場合は、自由長と定着長に注意して施工すること。

コンクリートアンカー配置図



シート工

(高強度型2方向炭素繊維シート 目付量200g/m²)



- 【注意点】
- 1) 既設炭素繊維接着工の範囲は調査時点でのうき範囲を示している。撤去の際は事前に打音によりうき範囲の確認を行うこと。
 - 2) 既設の炭素繊維接着工のうき部を撤去した後、炭素繊維の種類が異なる場合は、監督員報告の上、既設と同等級以上の性能の繊維に変更すること。
 - 3) 炭素繊維接着工の再施工にあたって、既設炭素繊維接着工にラップさせる場合は、100mm以上のラップ長を設けること。
 - 4) 既設炭素繊維接着工は漏水の影響でうきが生じていると想定している。下地処理として清切型線導水工 (BQ-70型同等品) としているが、それによりうきの場合には監督員と協議の上、変更のこと。

凡例

番号	補修内容
①	はつり落とし工 (劣化防止コーティング工)
②	シート工 (炭素繊維シート工)
③	当て板工 (FRPメッシュ工)
④	断面修復工

- ※1) 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
※2) 施工に際しては埋設物に十分注意すること。

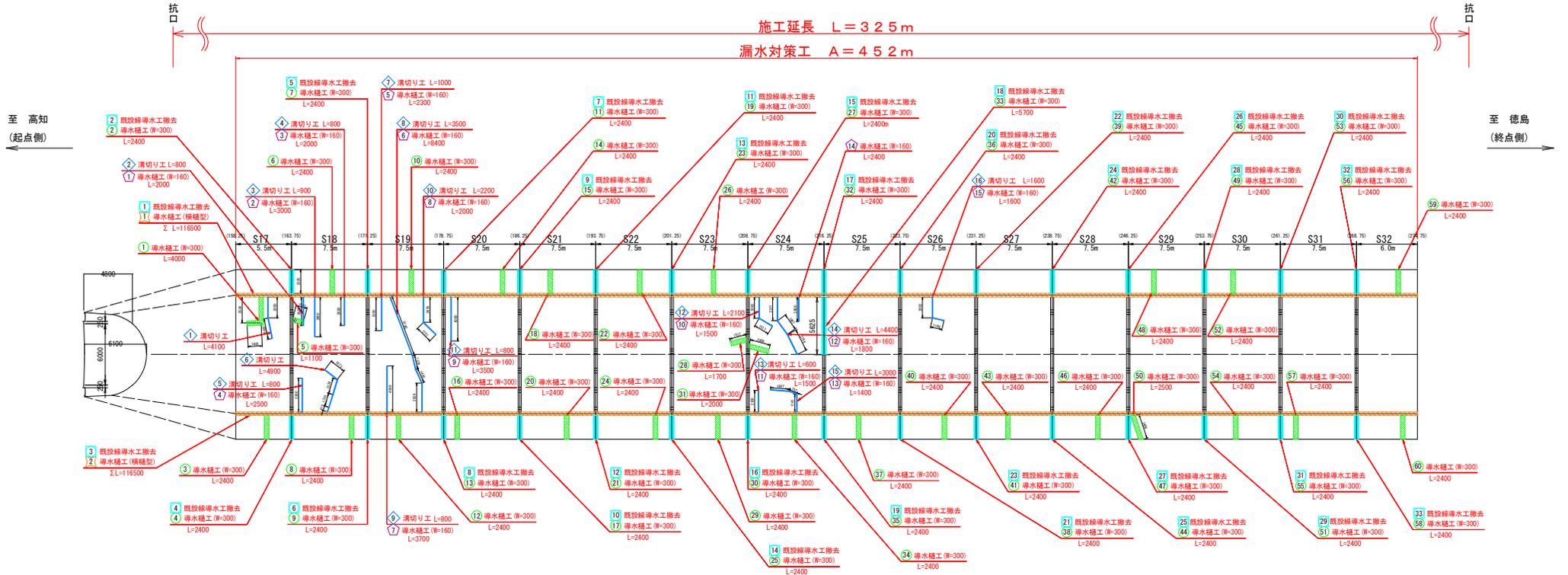
実施設計図面

工事名	R2那工 国道195号(白石トンネル) 那賀・白石トンネル修繕工事
路線名等	一般国道195号
工事箇所	那賀郡那賀町白石
図面名	対策工展開図(1/3)
縮尺	図示
図面番号	1 / 3
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>

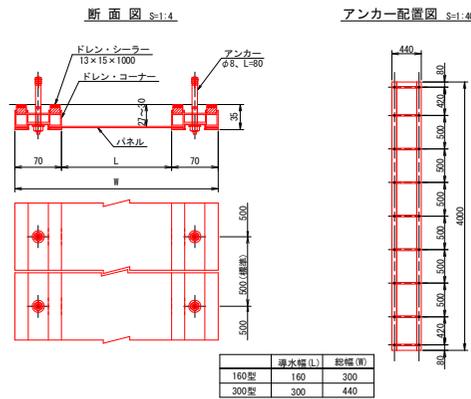
対策工展開図(2/3) S=1:200

＜導水樋工、溝切り工＞

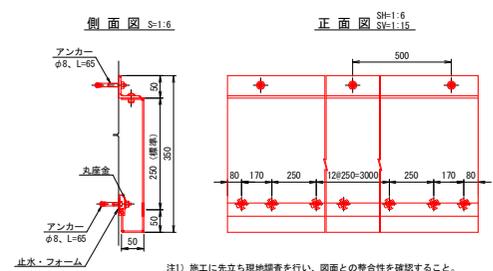
スパン番号	S17	S18	S19	S20	S21	S22	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	合計
導水樋工(Φ=300)	11.2m	10.7m	9.6m	9.6m	9.6m	9.6m	11.3m	14.9m	7.2m	7.2m	7.2m	7.2m	9.7m	9.6m	7.2m	4.8m	146.6m
導水樋工(Φ=165)	-	9.5m	16.4m	3.5m	-	-	-	8.6m	-	1.6m	-	-	-	-	-	-	39.6m
導水樋工(横樋型)	11.0m	15.0m	12.0m	233.0m													
溝切り工	4.1m	8.2m	7.5m	0.8m	-	-	-	10.1m	-	1.6m	-	-	-	-	-	-	32.3m
既設線導水工撤去	15.8m	19.8m	19.8m	19.8m	19.8m	19.8m	19.8m	25.5m	19.8m	12.0m	310.7m						



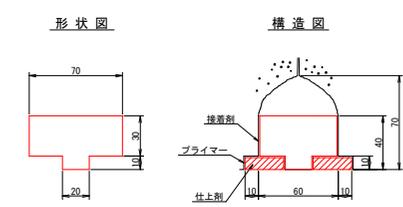
導水樋工



導水樋工(横樋型)



溝切り工 S=1:2



凡例

番号	補修内容
○	導水樋工(横樋型)
□	導水樋工
◇	溝切り工
□	既設線導水工撤去

実施設計図面

工事名	R2郡土 国道195号(白石トンネル) 那賀・白石トンネル修繕工事
路線名等	一般国道195号
工事箇所	那賀郡那賀町白石
図面名	対策工展開図(2/3)
縮尺	図示
図面番号	2 / 3
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>

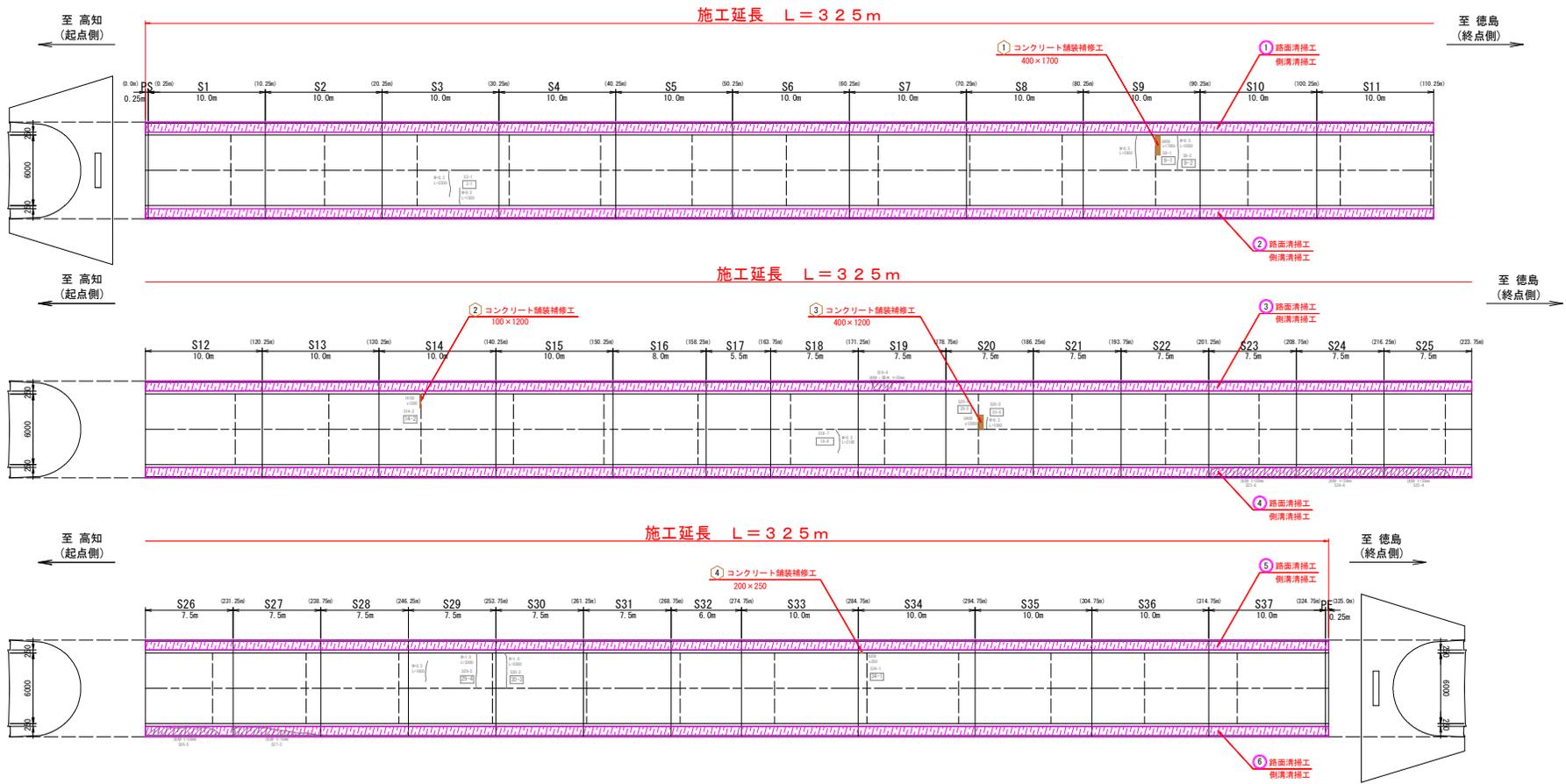
注1) 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
 注2) 施工に際しては埋設物に十分注意すること。
 注3) 既設線導水工を撤去した後、新規の線導水工を施工するに際して、断面修復等の実施が必要な場合は、監督員に報告の上変更を協議すること。

※ 既設の素組継ぎ工は漏水の影響でうきが生じていると想定している。下地処理として溝切り型導水工(Φ=70型同等品)としているが、それよりがたい場合は監督員と協議の上、変更のこと。

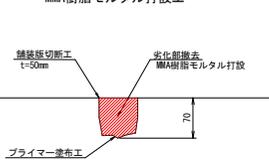
対策工展開図(3/3) S=1:200

<コンクリート舗装補修工、路面清掃工>

対策工	スパン番号	PS	S9	S14	S20	S34	合計
	コンクリート舗装補修工	-	-	0.68m ²	0.12m ²	0.48m ²	0.05m ²
路面清掃工	565.50m ²	-	-	-	-	-	565.50m ²
側溝清掃工	650.00m	-	-	-	-	-	650.00m

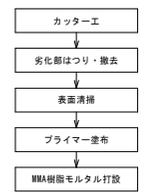


コンクリート舗装補修工

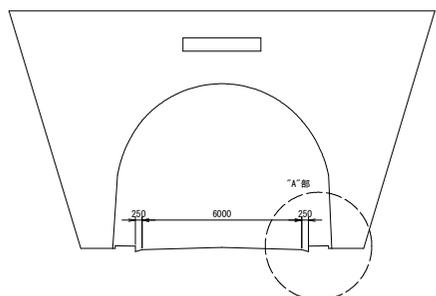


- ※1: MMA樹脂モルタルは気温によって硬化性状が変化するため、施工時の気温に合った配合を行うこと。
- ※2: MMA樹脂は異物の混入によって硬化不良を起こす場合があるため、所定の材料以外を混入しないこと。
- ※3: MMA樹脂モルタル (JS-02) は厚くなる材料分離が生じる場合があるため、一層の厚さは30mm程度とし、硬化後ただちに打ち替へこと。

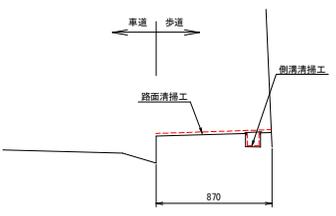
コンクリート舗装補修工 施工フロー



抗口断面図 S=1:100



"A"部詳細図 S=1:20



凡例

番号	補修内容
①	コンクリート舗装補修工
②	路面清掃工、側溝清掃工

注1) 施工に先立ち現地調査を行い、図面との適合性を確認すること。
注2) 施工に際しては埋設物に十分注意すること。

実施設計図面

工事名	R2郡工 国道195号(白石トンネル) 那賀・白石トンネル修繕工事
路線名等	一般国道195号
工事箇所	那賀郡那賀町白石
図面名	対策工展開図(3/3)
縮尺	図示
図面番号	3 / 3
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>